

# 学びの広場

## 公立高校の入試が大きく変わります

今年度から、すべての公立高等学校(課程)で「共通選抜」が実施されるなど、大きく変わった「公立高校入学者選抜制度」について特集します。

### 高校入試制度の改善理由

(1)新学習指導要領の施行  
新学習指導要領による教育課程は、今年度から中学校で実施され、平成25年度から高等学校においても実施されます。

この新学習指導要領においては、「新たな学力」として「基礎的・基本的な知識・技能の習得」とともに、それらを活用するために必要となる「思考力、判断力、表現力等」、さらには「学習への意欲」についても求められることとなり、これらの内容を的確に把握する必要があります。

### (2)選抜期間の長期化

これまでの高校入試は前期選抜と後期選抜の複数の受験機会を設定していることにより選抜期間が長期化しており、1月から3月まで多くの日数を要しているという状況にありました。

### (3)中学校での指導への影響

前期選抜で合格者が決定する一方、多くの不合格者が出る現状があり、不合格となった生徒の精神的負担が大きいため指導が難しくなりました。

また、前期選抜合格発表以降、すでに高等学校への合格が決まっている生徒と後期選抜に向けて努力を続ける生徒が混在することから、進路指導、生徒指導の視点においても改善が求められました。

※「学習指導要領」とは、文部科学省が、教科と内容をどの学年でどのように実施するかなどの基本事項を示したものです。



### 新しい選抜制度

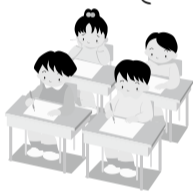
これまでの前期選抜、後期選抜の特性を活かし、それを一体化した「共通選抜」が実施されます。なお、定時制、通信制については、共通選抜

の後に「定時分割選抜」が設けられました。  
学習の記録(中学校の成績)、学力検査(入学試験)、面接の3つは選抜(検査)の資料として全ての学校で実施され、一部の学校で特色検査がプラスして実施されます。

(1)学習の記録(中学校の成績)  
2学年と3学年の9教科の評定(成績)が資料となります。昨年度までの特別活動の記録(生徒会活動、部活動等)については、面接の中で「意欲」として評価されることになりました。

(2)学力検査(入学試験)  
全日制では5教科、定時制では3教科で実施されます。これまで以上に「思考力、判断力、表現力等」を測る問題が出題されます。また、配点は1教科50点満点から100点満点になります。なお、昨年度までの「独自問題」を実施する学校はなくなりました。

(3)面接  
●各校共通の評価の観点  
・入学希望の理由  
・中学校での教科等に対する学習意欲  
・中学3年間での教科等以外の活動に対する意欲  
※すべての学校で質問されます



### 各高校の第1次選考比率

(県西・秦野伊勢原地区)

選抜資料	学力検査	面接	特色検査
小田原	3	5	2
西湘	5	3	2
西湘理数	5	3	2
足柄	4	4	2
大井	6	2	2
山北	4	4	2
山北スポーツリーダー	4	4	2
吉田総	5	3	2
小田ビ	4	4	2
城北工	4	3	3
秦野	3	5	2
秦野曾	4	4	2
伊勢原	4	4	2
伊志田	4	4	2
秦野総	4	3	3

※募集人員の90%を選考

### (5)選考方法

「学習の記録」「学力検査」「面接」の3つの資料を、それぞれ100点満点にした上で、合計が1000点になるようそれぞれの学校で比率を決めることができます。特色検査は別に500点まで上乗せすることができます。  
(各資料最低の比率は2割)  
※右図は各高等学校で定めた比率  
【問い合わせ】教育課学校教育係  
☎(83)7023

### まちなか美術館のお知らせ

2月15日(金)~28日(木)



昨年度のまちなか美術館(写真はさがみ信用金庫での様子)

幼稚園、小中学校の幼児・児童・生徒が制作した絵や立体作品などを、町内の商店や事業所などに展示する「まちなか美術館」が開催されます。まちなかを歩く際は、ちよつと足を止めて、ご覧ください。展示場所等の詳細はお問い合わせください。  
【問い合わせ】教育課生涯学習係  
☎(83)7023

### 変更点の概要 全日制の場合

平成24年度の入学者まで(日程は前年度)

- 前期選抜(1月25日・26日) 合格発表(2月1日) 定員の20~50%を募集 選抜資料
  - ・面接(一部の高校で実技検査)
  - ・学習の記録(中学校の成績)
- 後期選抜(2月16日・17日) 合格発表(2月24日) 選抜資料
  - ・学力検査(国・社・数・理・英)(一部の高校は独自問題を実施)
  - ・学習の記録(中学校の成績)

↓

平成25年度の入学者から(日程は今年度)

- 共通選抜(2月15日・18日・19日) 合格発表(2月28日) 選抜資料
  - ・学習の記録(中学校の成績)
  - ・学力検査(国・社・数・理・英)
  - ・面接
  - ・特色検査(一部の高校で作文や実技検査などを実施)

※入学者選抜の詳しい内容は、県教育委員会ホームページで確認できます  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/fl60600/>

### 今年度の入学選抜について

寄中学校進路指導主任 教諭 大隈章代

今年度から、公立高校の入試選抜が2月のみに一本化されました。そのため、進路指導や教科指導にじっくり時間をかけることが可能になりました。新しい選抜制度では、学力検査で記述式の問題が出題されたり、受験生全員に面接が課せられたので、本校では日頃から生徒が自分の考えを書いたり、主張したりする場面を多く設けるようにしています。

昨年度まで評価されていた特別活動などの実績が対象外となりましたが、今年度から中学3年間の教科や教科外の取り組みの姿勢(意欲)が面接で問われるようになりました。従って、アピールできるような活動が持てるよう充実した中学校生活を過ごすことも大切だと考えます。

### 名号塔

みようごうとう

阿弥陀如来(仏)という仏様は、この世の西方はるか十万億土を隔てた極楽浄土にいて、常に全ての衆生を救済しようとして説法されている仏様であるといえます。阿弥陀信仰というのは端的に言えば、

これらは特に江戸末期から明治初期にかけて、疫病治癒などに顕著な霊験を示して熱狂的にその信仰が広まりました。

唯念念仏は、当時流行したコレラなどの疫病までも治すと言われ、その話は明治の初年、地方新聞の記事にもなっています。足柄上郡各町や秦野市、南足柄市、小田原市あたりには大小さまざまの名号塔がいくつも見られます。しかし、当町においては名号塔は多数残っているものの、徳本、または唯念名号塔としては、寄の福昌院参道入り口にある唯念名号塔があるのみです。

「歴史的石造物」その7  
町文化財保護委員 平賀康雄

福昌院の名号塔

### まちなか美術館のお知らせ

2月15日(金)~28日(木)

幼稚園、小中学校の幼児・児童・生徒が制作した絵や立体作品などを、町内の商店や事業所などに展示する「まちなか美術館」が開催されます。まちなかを歩く際は、ちよつと足を止めて、ご覧ください。展示場所等の詳細はお問い合わせください。  
【問い合わせ】教育課生涯学習係  
☎(83)7023